

地域ぐるみで子どもを育む仕組み「地域協育ネット」の概要

1 「地域協育ネット」の推進の背景

(1) 学校・家庭・地域が連携した仕組みづくりの必要性

近年、少子高齢化、高度情報化、グローバル化の進展など、社会環境が大きく変化する中で、コミュニケーション能力や体力の低下など、子どもたちの育ちに関する様々な課題が指摘されています。

こうした中、学校では、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成に向けた教育活動の一層の充実とともに、児童生徒の問題行動への対応、特別支援教育やキャリア教育の充実、情報教育や環境教育等の現代的課題への対応等、多くのことが求められています。

一方、地域では人々の地縁的なつながりが薄れてきており、かつて多くの地域で見られていたような、地域での子ども同士の遊びや子どもたちと大人の交流といった光景は少なくなってきました。また、家庭においても、核家族化や地域における人間関係の希薄化等を背景に、子育てに関する悩みや不安をもつ保護者の増加や孤立化の問題などが指摘されています。

子どもたちの「生きる力」は、学校における組織的・計画的な学習とともに、親子のふれあいや友だちとの遊び、地域の人々との様々な体験を通して根付いていくものです。こうした環境を子どもたちに保障していくために、学校・家庭・地域の連携が必要であることはこれまでも言われてきたことですが、今求められているのはそのための具体的な体制づくりです。学校・家庭・地域の連携を実際に機能するものとして定着させるためには、各地域の関係者が互いに連携して、継続性のある具体的な仕組みづくりを進めていくことが重要です。

(2) 本県のこれまでの取組

学校・家庭・地域の連携による教育力向上を一層図るためには、子どもたちが生活する地域の体制がどのようになればよいのかという視点で、取組をより総合的・俯瞰的に見て体制づくりをしていくことが重要です。

本県では、学校・家庭・地域の連携・協働に向けた体制づくりとして、平成 23 年度から、地域ぐるみで子どもたちを見守り、支援するための、概ね中学校区をひとまとまりとした仕組みである「地域協育ネット」を、市町教委と連携を図りながら推進し、平成 26 年度末までに、この仕組みが全中学校区に整備されました。

さらに、平成 27 年度から、「地域協育ネット」の仕組みを生かして、コミュニティ・スクールが核となり、各中学校区で地域のネットワークを形成し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進しています。
(「やまぐち型地域連携教育」の概要については、P 5 参照)

2 15 年間の子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支援する「地域協育ネット」の仕組み

「地域協育ネット」は、幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り支援することを意図した体制です。「地域協育ネット」の「協育」という言葉には、学校・家庭・地域が「協」働して、子どもたちの生きる力を「育」むという思いが込められています。

具体的な形は市町の考えや地域の特性により一様ではありませんが、本県では、次

の点を重視しながら各地域の仕組みづくりを支援しています。

(1) 中学校区をひとまとまりとした運営

幼児期から中学校卒業程度までの子どもたちの育ちや学びを、継続的に地域ぐるみで見守り、支援するという意図から、概ね中学校区をひとまとまりとした体制づくりを推進しています。

(2) 地域協育ネット協議会の設置（名称は、校区によって異なります。）

地域協育ネット協議会は、校区の課題やめざす子ども像の共有、活動計画策定などの協議の場となります。この協議会は、公民館や学校運営協議会、地域教育協議会などの、地域にある既存の組織を生かしながら運営がなされています。平成26年度末には、すべての中学校区に地域協育ネット協議会が設置されました。

(3) コーディネーターの配置

学校や支援組織・団体等との連絡調整を担います。「地域協育ネット」においては、キーパーソンとして、その果たす役割は非常に重要です。本県では、年8回、「『地域協育ネット』コーディネーター養成講座」を開催し、コーディネーターの養成に努めています。

また、平成29年度末までに、中学校区における教育支援活動の総合的な調整を行う統括コーディネーターの全中学校区への配置をめざしています。

3 「地域協育ネット」がめざすもの

(1) 子どもたちの「生きる力」の育成

学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの育ちや学びを見守り、支援するための目的の一つは、子どもたちの「生きる力」の育成です。

学校の教育活動などにおいて、地域の多様な教育資源（ヒト、モノ、コト）を積極的に生かすとともに、地域活動への参加を通して子どもたちの体験活動を充実させ、さらには、幼児期からの子どもの育ちや学びを地域全体で支えていくことが、子どもたちの「生きる力」を育むことにつながります。

(2) 幼保等・小・中・高の連携の促進

各小中学校のコミュニティ・スクールの充実を図るとともに、小中学校の連携の充実、さらには幼保等や高校との連携を一層進めていくことが、子どもたちの連続した育ちや学びの支援につながります。また、15年間の子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支援するためには、同じ中学校区内の学校や地域住民が「育てたい子ども像」等を共有した上で、互いに連携し合うことが不可欠です。

(3) 学校づくりと地域づくりの一体的な推進

学校においては、このような仕組みづくりを行うことにより、子どもたちの生活基盤の共通性や発達の連続性を視野に入れた学校運営がより確かなものになります。一方で、地域の人々が子どもたちに関わることにより、子どもの成長とともに大人の成長も促し、さらには、子どもを介して地域の絆を強めていくことにもつながります。

このように、学校と地域が連携して仕組みづくりを行うことは、学校づくりと地

域づくりを一体的に推進することになります。また、「学校がよくなれば地域がよくなる」「地域がよくなれば学校がよくなる」という相乗効果をもたらします。

(4) 家庭教育支援の充実

地域の中に仕組みをつくることにより、身近な地域で顔が見える関係が構築でき、孤立しがちな家庭に対しても、同じ立場で柔軟に活動できる人々の協力を得ながら、学習機会や情報の提供・相談対応など、きめ細かな支援を行うことができやすくなります。

4 推進協力校区の取組

「地域協育ネット」の推進に当たって、取組の成果と課題等を情報提供していただくために、平成 27 年度は、市町教育委員会の協力を得て、県内 44 中学校区を推進協力校区に指定しています。

各校区における「地域協育ネット」の推進母体は、学校運営協議会や公民館、地域教育協議会（学校支援地域本部）など、校区によって異なります。また、次のような県教委の事業等を活用しながら、「地域協育ネット」の活動が行われています。

- ① 「地域協育ネット」による温かい絆づくり推進事業
- ② 「熟議」サポート事業
- ③ 「やまぐち型地域連携教育」の核となるコミュニティ・スクールの推進
- ④ やまぐち教育応援団
- ⑤ 山口県高校生ボランティアバンク
- ⑥ 地域ぐるみの防災キャンプ推進事業
- ⑦ 地域スポーツ人材の派遣
- ⑧ 地域を活用した学校丸ごと子供の体力向上推進事業
- ⑨ 総合型地域スポーツクラブの育成
(事業概要については、「Ⅲ 『地域協育ネット』 推進に係る関連事業等」参照)

5 優良「地域協育ネット」等の表彰（平成 27 年度創設）

社会総がかりによる「地域教育力日本一」の実現に向け、「やまぐち型地域連携教育」の推進を図ることを目的に、概ね中学校区において学校・家庭・地域の連携・協働により教育支援活動等を実践する「地域協育ネット」等のうち、その活動内容が特に優れ、他の模範と認められるものに対し、その功績を称える表彰制度を創設しました。

平成 27 年度受賞の「地域協育ネット」 (50 音順)

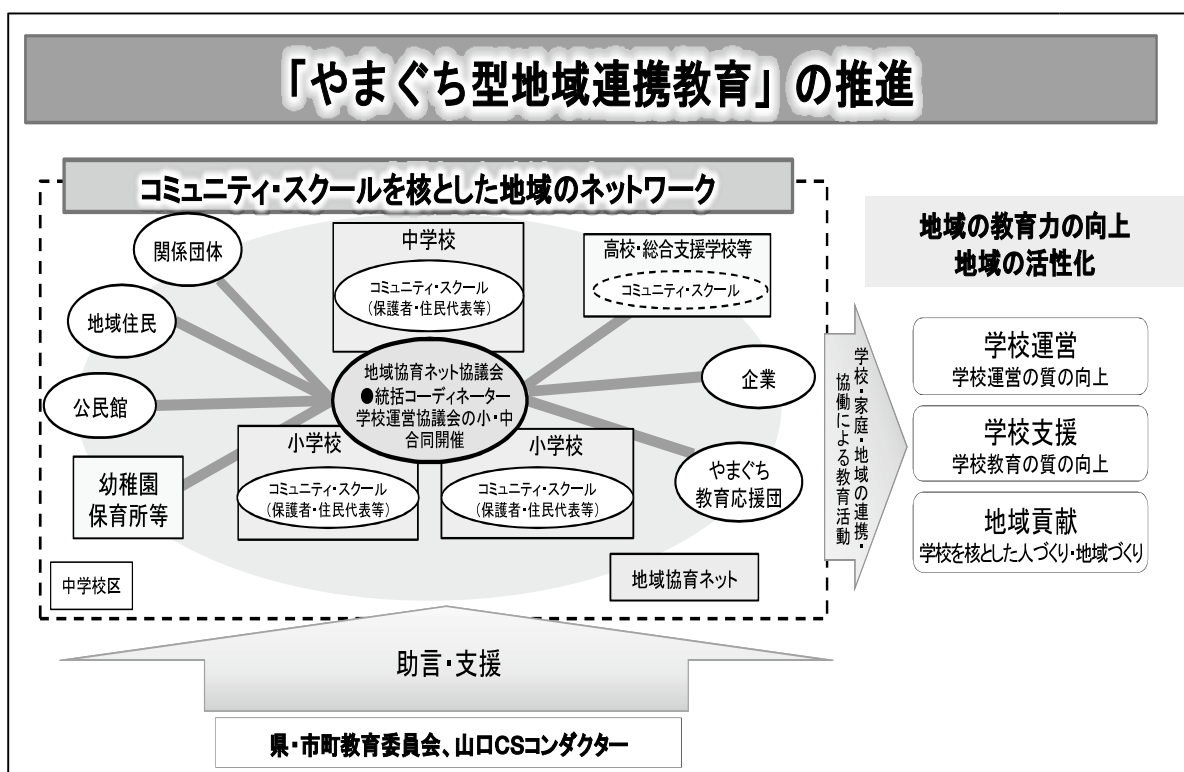
光 市	浅江中学校区地域協育ネット（浅江中学校区）
岩国市	あったかネット（川下中学校区）
山口市	潟上中学校区地域協育ネット（潟上中学校区）
宇部市	厚東中学校区地域協育ネット（厚東中学校区）
萩 市	夏柑ネット（萩東中学校区）

「やまぐち型地域連携教育」の概要

本県では、平成 27 年 3 月に策定した県政運営指針「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」の重点施策に、「社会総がかりによる『地域教育力日本一』の取組の推進」を掲げ、「『コミュニティ・スクール』で子どもも大人もイキイキとする地域にやさしい学校づくり」と「『地域協育ネット』による日本一の『学校・家庭・地域の温かい絆づくり』の推進」に取り組むこととしています。

そのチャレンジプランを踏まえ、県教育委員会では、山口県教育振興基本計画を一部改定し、コミュニティ・スクールが核となり、「地域協育ネット」の仕組みを生かして、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」を重点的に推進しています。

この推進にあたっては、コミュニティ・スクールを所管する義務教育課と、「地域協育ネット」を所管する社会教育・文化財課が緊密に連携し、市町教育委員会とも連携しながら、一体的に推進する体制の構築を図っています。



*山口CSコンダクター：各コミュニティ・スクールの取組の充実や水準の向上、小中連携の取組を推進するため、各学校の訪問指導・連携支援を行う。

*統括コーディネーター：中学校区に配置され、学校間の連携や地域の支援者との連絡調整、活動の総合調整などを行う。